

環境活動報告書

2013 年版

(2013 年 3 月～2014 年 2 月)

作成者 マルイ食品株式会社

環境対策担当 飯牟禮清隆

環境保全を全社で取組むために 2011 年 10 月に環境方針を制定しました。

環境方針

私たちマルイ食品株式会社は、鶏の命を扱う企業として「生きるものの命の大切さ」を働く仲間全員で認識し、「いのち」と「自然」が調和しつづける社会の実現を目指して事業活動における環境への影響の予防と低減に取り組めます。

1. 鶏卵・鶏肉の処理・販売や加工食品の開発・製造・販売に際し、資源・エネルギー（電気、ガス、重油等）の節約、再資源化、再資源利用等を推進し事業活動全体での省資源・省エネルギーに努めます。
2. 環境に関連する法規制や自治体との協定、地域や業界団体などとの同意事項を遵守すると共に、必要に応じて自主基準を定め遵守します。
3. 目標と達成の施策を明確にし、進捗状況を定期的に確認することにより、改善・強化を図ります。また、毎年経営者による環境方針、環境目的・目標の妥当性を確認します。
4. 環境問題に関して、組織のために働く全ての人々に対し教育を行い、意識を高めると共に会社だけでなく地域においても環境保全活動の取組みを促します。
5. 環境方針を各事業所に掲示するとともに、ホームページに掲載します。

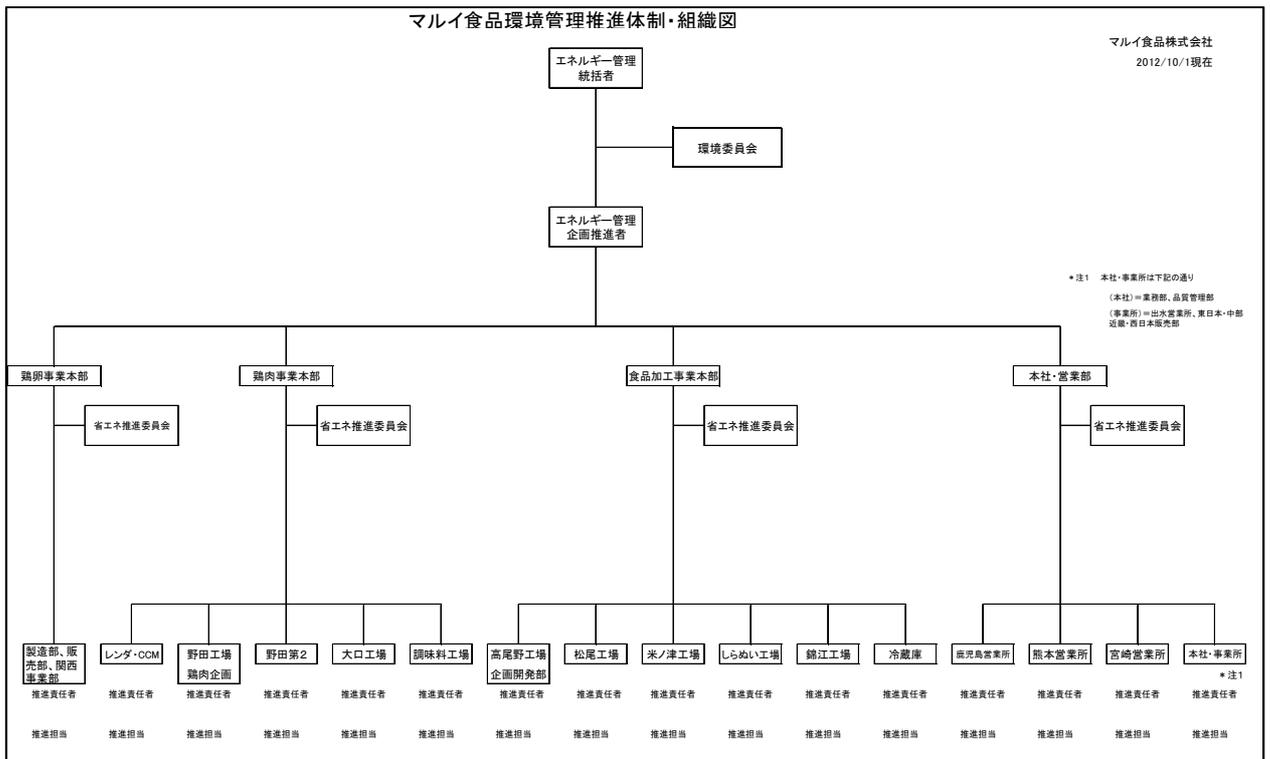
2011 年 10 月 1 日

代表取締役社長

上須田 清

環境活動推進体制

マルイ食品では、これまで各事業所が独自に省エネルギー・省資源に取り組んできましたが、この取組みを全社でさらに強化するために、平成23年4月本社に環境対策担当を置き、活動方針・環境管理推進体制を定め、社内の各部署と連携しながら環境問題に取り組むことにしました。



環境問題取組み方針

平成25年5月の環境委員会で、環境問題に関する取組み方針をレビューしました。

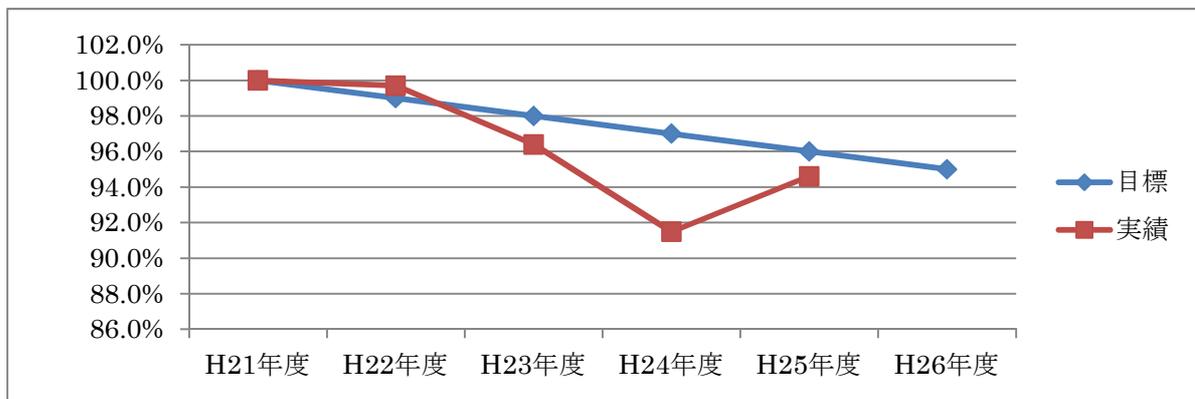
- ☆ エネルギー原油換算量を5年間で5%削減します。
- ☆ この夏の九州電力の需要圧迫に対し、協力します。
- ☆ 7～9月を省エネルギー強化月間とし、全社的に省エネルギーに取り組む優良な事業所を表彰します。
- ☆ 8～9月はエコドライブコンテストを開催し、優秀な営業所を表彰し、運転員のモラルの向上を図ります。

地球温暖化防止対策 取り組みと結果

エネルギー使用に係る原単位の削減目標を達成しました。
(平成 21 年度基準年に対し 94.6%)

平成 25 年度のマルイ食品(株)全体のエネルギー使用に係る原油換算量は 9、103kl、原単位は 0.0633 (基準年に対し 80.1%、寄与度は 94.6%) となり目標を達成することが出来ました。マルイ食品環境管理推進体制のレビュー、全社的取り組みの成果の公表(毎月)、表彰の実施など、全従業員の省エネルギーに対する意識を高められた事が目標達成につながったと考えられます。

エネルギー使用に係る原単位の目標と実績(寄与度)



CO₂排出量は増加しました
(平成 21 年度の基準年に対し 153.1%)

平成 25 年度の二酸化炭素 (CO₂) 排出量は 2 万 1,845 トン (基準年に対し 153.1%、前年比 119.8%) となりました。平成 24 年度 10 月の販売 4 子会社の吸収合併、事業者別 (九州電力(株)) 二酸化炭素排出係数の増加によるものです。

CO₂排出量推移表(九州電力係数は調整後引用)

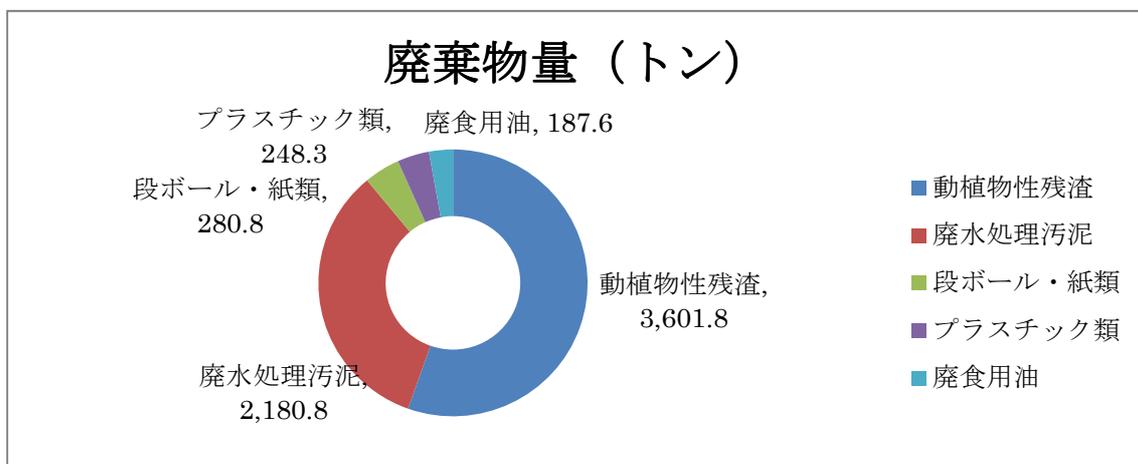
項目	単位	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
CO ₂ 排出量	tCO ₂	14,266	13,850	14,417	18,238	21,845
前年比	%		97.1%	104.1%	126.5%	119.8%
生産・販売量	トン	104,601	103,849	110,795	124,861	143,707
原単位当り CO ₂ 量	tCO ₂ /トン	0.1364	0.1334	0.1301	0.1461	0.1520
前年比	%		97.8%	97.5%	112.3%	104.0%

平成 25 年度に明らかになったこと

製造工程から排出される廃棄物量を再確認しました

製造部門から排出される廃棄量を種類ごとに確認しました。1年間で排出された量は6,501トンで、生産量当たり5.8%の廃棄率となり、平成24年度対比で0.7%の微増となりました。今後の歩留り向上を図り、発生抑制（リデュース）に努めます。

全事業所の廃棄物量（対象期間：平成24年3月～平成25年2月）



平成 25 年度の主な活動報告

1、環境法規制遵守の状況

平成25年度は、工場排水の定期内部水質検査で内部基準に対する軽微な不具合が13件、PCB 特別措置法の遵守違反1件（保管未届）が発生しました。改善を図り、異常ないことを確認いたしました。

2、太陽光発電システムが完成しました。

平成24年11月31日付けで再生可能エネルギー発電設備の認定を受け、野田第2工場の屋根面にソーラーパネル1,505枚を設置し、約240KWの太陽光発電システムが完成しました。

年間の予測発電量の二酸化炭素削減量は91,528kgの削減、スギの木が1年間に吸収する二酸化炭素量に換算すると、年間で最大で約6,500本分に相当します。



3、環境保全活動を実施しました。

平成25年7月20日に出水クリーン作戦、8月25日水俣地区環境整備運動に参加し、海岸や河川の清掃作業に取り組みました。



4、CO₂ダイエット宣言の登録継続

平成 23 年度に鹿児島県が募集している省エネ活動やエコドライブに取り組む「CO₂ダイエット作戦」に全事業所登録しました。その後も継続して全従業員の省エネに対する意識を高めました。



5、省エネ強化月間、エコドライブコンテストを実施しました

平成 25 年 7 月 1 日から 9 月末にかけて「省エネ強化月間」として取り組み、また、新規に「エコドライブコンテスト」を実施し、各事業所の省エネ活動を推進しました。消費エネルギーの削減に積極的に取り組み、成果を出した事業所に対して表彰をおこないました。



6、低炭素杯 2014CO₂・CO₂ と減らす「かごしまアクション」コンテストに参加しました。

CO₂CO₂ と減らすかごしまアクションコンテストに応募し、書類選考を通過して、二酸化炭素の削減の取り組み・成果を発表しました。

審査の結果、特別賞を受賞し、これを励みに環境への取り組みの機運がますます高まりました。

マルイ食品は、今後も環境保全の活動を行い、地域社会と共生を図り、持続可能な社会の発展に奉仕して参ります。

